

東京女子医科大学附属

## 東洋医学研究所 便り Vol.1

当研究所は平成4年に新宿NSビル内に開設され、田端駅前（平成19年）の移転を経て、この度令和元年7月より本院隣接地の南館（旧南病棟）1階に移転しました。病院で西洋医学の治療を受けていただいている患者様も、日々のカラダの不調を漢方薬で改善することができます。東洋医学研究所便りを通して、東洋医学のことを知っていただき、ご活用いただけたらと思っております。



## 「夏の疲れ」残っていませんか？



- 疲れているのに眠れない
- 日中の眠気が強い
- 胃腸の調子が悪く、食欲がない
- だるくて、横になりたい

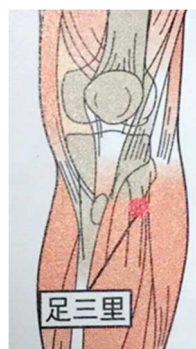
夏の疲れ以外にも、病後の疲れ、治療中の諸症状など、上記の症状に当てはまる方は、漢方治療が有効なことがあります。

困っている症状があるのに、病院で検査しても何も異常がない場合も、漢方治療で症状の改善を図ることができます。冬を迎える前に対策をしませんか？

※当院は漢方治療を保険診療で実施しています。（煎じ薬も保険診療で処方できます。）

## 疲れに効くツボはここ！！ 足三里（あしさんり）

消化機能を改善し、体力増強、疲れ、むくみに効くとされるツボです。押すとズーンと響くところです。疲れに効くツボ、「足三里」を押してみてください！！当院には隣接の東洋医学研究所鍼灸臨床施設があります。※鍼灸治療は自費診療です。



## 足三里の場所

すねの外側で、膝の皿のすぐ下の外側のくぼみから指4本分下方の所にあります。

## 受診方法

- ① 通院中の主治医に受診希望（漢方治療）とお伝えいただくか、直接ご自身で受診してください。
- ② 当院は予約制です。南館1階に直接来院、または電話予約（03-6709-9025）してください。
- ③ 当日もしくは近日中に診察いたします。

発行所：東京女子医科大学附属東洋医学研究所

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1 南館1階

（担当）陣内厚子 田中香代子（発行責任者） 所長 木村容子